

授業日	10/18(火)	2 学期授業回数	6 回目 / 全 10 回																		
学習目標	・「画像を識別する AI ブロック」を活用して「日常生活に役立つ AI アプリ」を開発するために、Scratch を用いて画像を識別する AI ブロックの操作を行うことができる。																				
時間	20	授業開始, 3 人のグループに分かれてアプリについてプレストをする																			
授業内容	25	1 グループにつき 1 台の Scratch を用いて実際にアプリを作ってみる																			
	20	引き続きグループ作業																			
	25	各グループが発表する																			
		授業終了																			
評価方法																					
宿題指示	<p>「AI を活用するとはどういうことか」について、4/19 の発表資料にある学びと、今回の 3 回の授業で実感・体感して学んだことを考察しながら 800 字程度で書きなさい。</p> <p>→ Classi アンケート機能で配信・提出</p> <table border="1" data-bbox="300 792 1469 1274"> <thead> <tr> <th colspan="2">【10/18】</th> <th></th> </tr> <tr> <th colspan="2">「AI を活用するとはどういうことか」について、4/19 の発表資料にある学びと、今回の 3 回の授業で実感・体感して学んだことを考察しながら 800 字程度で書きなさい。</th> <th></th> </tr> <tr> <th></th> <th>考察</th> <th>文字数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>4/19 の学びと今回の 3 回の授業の学びが、有機的なつながりを見せており、そこから自分なりの AI 活用の説明についての記述が明確に見られる。</td> <td>800 字程度におさまっている。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>4/19 の学びと今回の 3 回の授業の学びが、ある程度つながっており、そこから自分なりの AI 活用の説明についての記述がある程度見られる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>4/19 の学びと今回の 3 回の授業の学びが、あまりつながっておらず、自分なりの AI 活用についての説明があまり見られない。</td> <td>800 字程度におさまっていない。</td> </tr> </tbody> </table>			【10/18】			「AI を活用するとはどういうことか」について、4/19 の発表資料にある学びと、今回の 3 回の授業で実感・体感して学んだことを考察しながら 800 字程度で書きなさい。				考察	文字数	A	4/19 の学びと今回の 3 回の授業の学びが、有機的なつながりを見せており、そこから自分なりの AI 活用の説明についての記述が明確に見られる。	800 字程度におさまっている。	B	4/19 の学びと今回の 3 回の授業の学びが、ある程度つながっており、そこから自分なりの AI 活用の説明についての記述がある程度見られる。		C	4/19 の学びと今回の 3 回の授業の学びが、あまりつながっておらず、自分なりの AI 活用についての説明があまり見られない。	800 字程度におさまっていない。
【10/18】																					
「AI を活用するとはどういうことか」について、4/19 の発表資料にある学びと、今回の 3 回の授業で実感・体感して学んだことを考察しながら 800 字程度で書きなさい。																					
	考察	文字数																			
A	4/19 の学びと今回の 3 回の授業の学びが、有機的なつながりを見せており、そこから自分なりの AI 活用の説明についての記述が明確に見られる。	800 字程度におさまっている。																			
B	4/19 の学びと今回の 3 回の授業の学びが、ある程度つながっており、そこから自分なりの AI 活用の説明についての記述がある程度見られる。																				
C	4/19 の学びと今回の 3 回の授業の学びが、あまりつながっておらず、自分なりの AI 活用についての説明があまり見られない。	800 字程度におさまっていない。																			